

平成 2 5 年第 3 回定例会

総務民生常任委員会  
会 議 録

期日：平成 2 5 年 9 月 6 日（金）

場所：大曲庁舎 第 1 委員会室

# 大仙市議会総務民生常任委員会会議録

日 時

平成 25 年 9 月 6 日（金曜日） 午前 10 時 00 分～午前 11 時 48 分

会 場

大仙市役所 3 階 第 1 委員会室

出席委員（7 人）

2 番 佐 藤 文 子	10 番 富 岡 喜 芳	15 番 渡 邊 秀 俊
16 番 高 橋 敏 英	22 番 本 間 輝 男	25 番 橋 村 誠
30 番 鎌 田 正		

欠席委員（0 人）

説明のため出席した者

総務部長：元吉峯夫	総務部部長待遇兼財政課長：佐藤芳彦
議会事務局長：木村喜代美	神岡支所長：伊藤利之
西仙北支所長：今野幸宏	中仙支所長：皆川 貢
協和支所長：武田春樹	南外支所長：伊藤敏夫
仙北支所長：竹内徳幸	太田支所長：草 弼 均
総務部次長兼防災管理官：郡山茂	総務部次長兼税務課長：佐藤哲男
会計管理者：柴田敬史	監査委員事務局長待遇兼事務局長：佐藤智弘
総務課長：伊藤義之	秘書課長：富樫公誠
契約検査課長：久保江信晴	管財課長：舩屋博之
総合防災課長：進藤 久	選挙管理委員会事務局長：藤井幸雄

市民部長：山谷勝志

次長兼国保年金課長：小野地淳司

環境交通安全課長：平 寛二

市民課長：小田原大造

消費生活相談室長：西村とも子

---

議会事務局職員出席者

参事 伊 藤 雅 裕

---

審議案件

- 第 1 議案第 1 0 7 号 大仙市特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 2 議案第 1 0 8 号 大仙市督促手数料及び延滞金条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 3 議案第 1 1 0 号 字の区域の変更について
- 第 4 議案第 1 1 1 号 字の区域の変更について
- 第 5 議案第 1 1 4 号 平成 2 5 年度大仙市一般会計補正予算（第 3 号）【総務部所管  
説明・質疑】
- 第 6 陳情第 6 2 号 経済と雇用対策強化のため地方財政の充実・強化を求める意見  
書採択について
- 第 7 議案第 1 1 4 号 平成 2 5 年度大仙市一般会計補正予算（第 3 号）【市民部所管  
説明・質疑】
- 第 8 請願第 1 8 号 【継続審査】「下水道の整備に伴う一般廃棄物等の合理化に関  
する特別措置法」に関することについて
- 第 9 議案第 1 1 4 号 平成 2 5 年度大仙市一般会計補正予算（第 3 号）【討論・表決】
- 第 10 地方税財源の充実確保を求める意見書について
- 第 11 閉会中の継続審査（調査）の申し出にかかる事件について

午前 10 時 00 分 開会

○委員長（渡邊秀俊） おはようございます。

おそらく最後の総務民生常任委員会だと思いますので、皆さん元気を出して、傍聴者にしっかりわかるように議論していただきたいと思います。

それではただいまから、総務民生常任委員会を開会いたします。

審査にあたっては、お手元に配付の審査日程表のとおり、審査を行いますので、よろしく願いいたします。

なお、正確な会議録作成のため、発言は、マイクのスイッチを入れてからお願いいたします。

総務部の審査に入る前に元吉総務部長からあいさつをいただきます。

○総務部長（元吉峯夫） おはようございます。

本日の総務民生常任委員会で審議をいただきます総務部所管の議案でございますけれども、非常勤特別職の報酬改正など条例案 2 件、字区域の変更 2 件、及び大曲庁舎駐車場改修や水害対策などの一般会計補正予算第 3 号の合計 5 件でございます。

詳細につきましては、このあと担当課長が説明いたしますので、よろしくご審議を賜りますようお願いを申し上げます。

○委員長（渡邊秀俊） はい、ありがとうございました。

これより、当委員会に付託された事件について審査いたしますが、質疑の時間を多く取りたいと思いますので、説明は簡潔にお願いいたします。

なお、説明は、座ったままで結構でございます。

---

○委員長（渡邊秀俊） はじめに、議案第 107 号、「大仙市特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」を議題いたします。

当局の説明を求めます。伊藤総務課長。

○総務課長（伊藤義之） 議案第 107 号、大仙市特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

資料 No. 1、議案書の 5 ページと 6 ページになります。

本件につきましては、公職選挙法の一部が改正され、指定病院等において行う不在者投票の公正の確保のため、不在者投票において、外部立会人を置く取り組みを積極的に進めることとされたことに伴い、今後の選挙において外部立会人を置く場合の報酬を条例規定するもので、公布の日から施行するものでございます。

なお、報酬額は、日額1万700円で、国政選挙における執行経費基準に定める不在者投票立会人の報酬額と同額としてございます。

以上、ご説明申し上げましたが、よろしくご承認賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。

○委員長（渡邊秀俊） はい、説明が終了いたしました。

これより質疑を行います。質疑のある方はお願いいたします。

はい、富岡委員。

○委員（富岡喜芳） ここにあります、従事というのは大体何時間見込んでいるのか。

○委員長（渡邊秀俊） 答弁を願います。はい、伊藤総務課長。

○総務課長（伊藤義之） 8.5時間を見込んでおります。

○委員（富岡喜芳） 実質、稼働時間、従事時間ですか。それとも休憩も入っているの、入っていないの。

○総務課長（伊藤義之） 実質です。

○委員長（渡邊秀俊） ほかに質疑はありませんか。

はい、佐藤委員。

○委員（佐藤文子） 外部立会人がこれまでいなかったという不在者投票という中で、何か問題となるような、或いはその指定病院の中でのこの投票の仕方等に、いわゆるそれぞれの病院の中での、違いがあったものなのか、また問題があるとすればどういうふうなことがあったものなのか、もしその辺が、調べられておるようであればありましたら、教えて頂きたいと思います。

○委員長（渡邊秀俊） はい、藤井選挙管理事務局長。

○選挙管理事務局長（藤井幸雄） ただいまの佐藤委員のご質問にお答え申し上げます。

この度の外部立会人制度が法的に整備された訳でございます。この外部立会人の制度の創設といいますのは、第三者を入れることによりまして、公正な投票選挙を行うということに創設された制度でございます。

今までの制度の運用、つまり不在者投票施設における、実際の事務投票については、特別不都合なことはございませんが、やはり制度として、さらに公正を期すために法的にこの外部立会人制度というものを、創設された訳でございます。

因みに大仙市においては、この外部立会人制度を導入する以前から既に選管の事務職員は施設からの要請があれば、赴きまして立会人の役目を果たしている状況でございます。以上でございます。

○委員（佐藤文子） はい、わかりました。

○委員長（渡邊秀俊） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（渡邊秀俊） なければ質疑を終結いたします。

これより討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（渡邊秀俊） 討論なしと認めます。

これより採決いたします。

本件は原案のとおり可決することに、ご異議ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（渡邊秀俊） ご異議なしと認め、本件は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

---

○委員長（渡邊秀俊） 次に、議案第１０８号、「大仙市督促手数料及び延滞金条例の一部を改正する条例の制定について」を議題といたします。

当局の説明を求めます。佐藤次長兼税務課長。

○税務課長（佐藤哲男） それでは条例についてご説明申し上げます。

資料№１、議案書の７ページをお願いいたします。

議案第１０８号、大仙市督促手数料及び延滞金条例の一部を改正する条例の制定について、でございます。

次のページをお願いいたします。

大仙市督促手数料及び延滞金条例の一部を次のように改正するとしてございます。

このことにつきましては、地方税法の一部が改正され、地方税に係る延滞金の割合の特例の見直しが行われたことに伴い、地方税にならい延滞金の割合を定めている本条例の改正を行うほか、関係条例の所要の改正を行うものでございます。

内容についてご説明いたします。

附則第3項につきましては、延滞金の割合の特例について規定しておりますけれども、この延滞金について、本則で、納期限の翌日から1月を経過するまでは7.3%、納期限から1月を経過後は14.6%としてございます。

附則では、この1月を経過するまでの延滞金の7.3%の割合について、特例基準割合が7.3%に満たない場合には、特例基準割合とするとしてございます。改正後につきましては、この特例基準割合に1%を加算した割合としてございます。

また、1月を経過後にあつては、特例基準額に7.3%を加算した割合とするとしてございまして、延滞金の特例について1月を経過するものの規定を追加してございます。

次に改正条例の附則の第1項及び第2項につきましては、改正条例は平成26年1月1日から施行するとしており、施行日前の延滞金については、従前の例によることとしてございます。

また、附則第3項につきましては、大仙市農業後継者育成修学資金貸与条例の返還すべき額の延滞利息を当該条例で定めていたものを、今回、大仙市督促手数料及び延滞金条例に基づき徴収することとしたものでございます。

以上ご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（渡邊秀俊） はい、説明が終了いたしました。

これより質疑を行います。質疑のある方はお願いいたします。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（渡邊秀俊） なければ質疑を終結いたします。

これより討論を行います。討論はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（渡邊秀俊） 討論なしと認めます。

これより採決いたします。

本件は原案のとおり可決することに、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（渡邊秀俊） ご異議なしと認め、本件は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

---

○委員長（渡邊秀俊） 次に議案第１１０号及び議案第１１１号、「字の区域の変更について」の２件は関連がありますので、会議規則第８９条により、一括議題といたしますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（渡邊秀俊） 異議なしと認め、本２件を一括議題といたします。

当局の説明を求めます。伊藤総務課長。

○総務課長（伊藤義之） 議案第１１０号及び議案第１１１号、字の区域の変更についてご説明申し上げます。

議案書の１１ページから１８ページまでとなります。

本２件につきましては、農地集積加速化基盤整備事業の施行に伴いまして、西仙北地域皆別当地区及び南外中央地区の字の区域を変更する必要がある、地方自治法第２６０条第１項の規定により、議会の議決をお願いするものでございます。

以上ご説明申し上げましたが、よろしくご承認賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。

○委員長（渡邊秀俊） はい、説明が終了いたしました。

これより質疑を行います。質疑のある方はお願いいたします。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（渡邊秀俊） なければ質疑を終結いたします。

これより討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（渡邊秀俊） 討論なしと認めます。

これより採決いたします。

本２件は原案のとおり可決することに、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（渡邊秀俊） ご異議なしと認め、本２件は原案のとおり可決すべきものと決しました。



---

○委員長（渡邊秀俊） 次に、議案第１１４号、「平成２５年度大仙市一般会計補正予算（第３号）」のうち、総務部関係について、を議題といたします。

所管する補正予算について、説明をお願いします。

はじめに佐藤部長待遇兼財政課長。

○総務部部長待遇兼財政課長（佐藤芳彦） 財政課所管の予算の関係を説明申し上げます。

最初に歳入についてご説明申し上げますので、予算書の方をご覧頂きたいと思います。予算書は９ページになります。

９ページは地方交付税の関係であります。歳入１０款、地方交付税は９億９３８万４千円の補正であります。内容としましては、普通交付税としまして８億７，３６０万１千円、特別交付税として３，５７８万３千円の計上であります。

今年の普通交付税につきましては、既に７月に決定してございます。その額は１９６億３，７６３万９千円となっております。

次に真ん中辺になります国庫支出金のうち、総務費国庫補助金の中で地域の元気臨時交付金３億５，８７５万円でございます。この交付金につきましては、平成２４年度の国の補正予算におきまして創設されたものであります。地方公共団体が実施します補助事業や単独事業の地方負担部分の軽減を図るものでございます。

交付金の交付率は公共事業の地方負担額の８割程度と制度ではなっております。ただし、財政力指数によりまして、７割から９割に加減するとしてございます。

今回、大仙市への配分率が８６パーセントと決定いたしましたので、当初は不足のないようにとのことで７割というふうに見て、予算を計上してございましたので、その差額分３億５千万円を今回、補正するものであります。

１１ページをお願いいたします。

１１ページは繰越金８，５１０万５千円の計上であります。前年度繰越金であります２４年度から２５年度に繰り越されます実質収支額は６億４，１３３万５千円であります。今回の補正によりまして予算計上累計額は４億４，５８８万２千円でございます。繰越金で予算計上を留保している額は１億９，５４５万３千円となるものでございます。

次の諸収入のうち、地域総合整備資金貸付金元金収入６２３万２千円につきましては、歳出のところでご説明申し上げます。

それから下の方になります。市債の関係であります。今回は２億１，６２３万円の減額補正でございます。道路橋りょう債と社会教育債については、それぞれ減額でございますけれども、これにつきましては、交付税の算入率の無い市債を当初見込んでおりましたけれども、元気臨時交付金が充当することができるようになりましたので、今回、市債の発行を減額しまして、元気臨時交付金に振り替えるものでございます。

それから一番下の臨時財政対策債につきましては、地方財政法の特例として発行を認められている市債でございます。普通交付税の代替財源でございます。交付税が決定しまして、臨時財政対策債につきましても発行額が決まりましたので、今回、当初予算額との差額分を補正するもので、ございます。３，６８３万円の減額補正でございます。

次のページの１２ページの関係は、災害復旧費に係る市債でございます。道路橋りょう債及び林業施設債ということで合わせて６５０万円の市債の補正でございます。財政課所管の歳入につきましては以上の内容となっております。

続きまして歳出についてご説明申しあげます。

歳出につきましてはお手元に事業説明書の薄いのがお配りしてございますので、そちらの方を見ていただきたいというふうに思います。

事業説明書の２ページになります。

１２款公債費の長期債元金償還金の補正でございます。

今回の補正は平成１３年度に地域総合整備資金いわゆるふるさと融資を活用して融資を受けております中仙地域の企業から残債を繰り上げ償還したい旨の申し出があったことから、繰り上げ償還金として８００万円の補正でございます。

平成１３年度の融資額は６千万円であります。

当時の中仙町が市中銀行から借り受け、同金額を民間企業に貸し付ける転貸債でございます。償還期限は平成２７年度末となっております。補正額は平成２６年度以降の貸付金の元金収入６２３万２千円と、平成２６年度以降の元金の償還金８００万円でございます。返済回数にずれが生じているために元金収入額と元金償還が一致していないものでございます。

なお、地域総合整備資金を活用しますと融資を受ける企業にとりましては、無利子で貸し付けが受けられる有利な制度となっております。

以上、財政課所管の歳入歳出の補正予算につきましてご説明申しあげましたが、よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願いいたします。以上であります。

○委員長（渡邊秀俊） はい、次に、佐藤次長兼税務課長。

○税務課長（佐藤哲男） それでは、税務課所管の補正についてご説明させていただきます。

ただいまの資料の1ページをお願いしたいと思います。

上段の欄の説明項目ですけれども、今回、地方税法の改正による延滞金などの利率の見直しに伴うシステム改修等の経費でございます。

その下になりますけれども、補正額を183万8千円としてございます。

次に3の事業の概要でございますけれども、先に税条例の延滞金の利率の改正を行っておりますけれども、このことについては平成26年1月1日から施行するとしております。それに伴い①として滞納システムにおける延滞金の積算プログラムの修正、或いは、出力される帳票の修正等のため105万円であります。また②として、延滞金計算機のソフトの書き換えに63万円、③として督促状のレイアウトの変更に15万7,500円、合計で183万7,500円としてございます。

以上、簡単ですけれども、ご説明申し上げます。よろしくご審議の上ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（渡邊秀俊） はい、次に、舛屋管財課長。

○管財課長（舛屋博之） それでは、管財課所管の補正予算につきまして、ご説明いたします。

資料につきましては、資料No.2-1の主な事業の説明書で行います。

それでは1ページ目をご覧ください。

事業名は、庁舎駐車場改修事業費、元気臨時交付金分であります。

補正額は、1,389万2千円であります。

大曲庁舎駐車場につきましては、舗装の傷みが激しいことから、今年度と来年度の2カ年にわたりまして、改修工事を実施する予定でありましたが、今般、地域の元気臨時交付金を活用した事業実施が可能となったことから、来年度予定しておりました舗装改修工事を前倒しで実施するものであります。

施工箇所は、庁舎正面と西側及び中庭の駐車場であります。

工事の概要につきましては、舗装部分は打換工事であり、面積は3,130平方メートル、それに区画線工事を予定しております。

これによりまして、大曲庁舎駐車場は、当初の計画のすべての舗装改修工事が完了となり、駐車場の利便性が一層良くなるものと考えております。

以上、ご説明いたしました但、よろしくお願ひ申し上げます。

○委員長（渡邊秀俊） はい、次に、進藤総合防災課長。

○総合防災課長（進藤久） それでは総合防災課所管分についてご説明申し上げます。

資料№. 2－1の主な事業説明書の2ページをご覧ください。

9款1項2目18事業、全国女性消防操法大会の出場経費の補正額185万2千円の内訳をご説明申し上げます。

これは平成25年10月17日に横浜市消防訓練センターにおいて開催される全国女性消防操法大会」に出場する関係団員等の計17名を派遣する経費でございます。

今年、40名の女性消防団員から7名の隊員を選抜いたしまして軽可搬ポンプ操法を身につけるため、春先から本格的に訓練を重ねてまいりました。こうした活動が認められて、秋田県消防協会から全国大会への出場の推薦を受けまして、正式に第21回全国消防操法大会に出場することになりました。事業の目的にありますように全国大会の晴れ舞台を経験することにより、消防技術を錬磨し、士気の高揚を図るとともに安全安心な街づくりに寄与ものでございます。

事業の概要にありますように、練習訓練にかかる費用弁償とそれから大会関係者の全国大会へ出場するための旅費164万7千円、さらに脚絆や革手袋、ヘルメット等の消耗品費の20万5千円、合わせまして185万2千円の補正をお願いするものでございます。

補正額の財源内訳でございますが、その他といたしまして秋田県消防協会からの助成金30万円が充てられておりますので、残りの155万2千円が一般財源となります。

次に、補正予算書の同じく19ページ、主な事業説明書の3ページをご覧ください。

9款1項4目11事業、水害対策費の2,249万6千円を減額補正いたしまして、先の6月議会で補正いたしました元氣臨時交付金を活用した水害対策費に組み替えをいたしましてこの金額を加え、さらに今回新たに2,176万3千円の増額補正をお願いするものでございます。

補正額の内訳をご説明申し上げます。市では春先の雪解けによる内水氾濫を受けまして、洪水対策が急がれるものと判断いたしまして、6月議会におきまして国の地域の元

気臨時交付金を活用して、大曲地域花館柳町地内のノートルダム大曲裏と、同じく福田町地内に設置する常設ポンプの更新経費の補正をお願いしたところでございます。

しかし、最近の全国各地で頻繁に発生する局地的な、これまでに経験のない大雨による被害を受けまして、年次計画で準備しておりました常設ポンプの設置等の計画を、全て国の地域の元気臨時交付金を活用いたしまして、今年度中に前倒しして設置するというものでございます。

事業の概要をご覧くださいますが、大曲地域の太田町の旧仙北病院裏に設置しておりました8インチ1基のポンプを、口径14インチ、350ミリの毎分19トンの排水能力を持つポンプに更新するものであります。これは1昨年、福見町地内に設置した常設ポンプや現在、設置作業を進めております若竹町地内、花館柳町地内に設置するポンプと同じ規模のものでございます。設置経費といたしまして、測量業務が49万4千円、設置に係る工事経費が1,947万9千円でございます。

また、7月12日から13日にかけての大雨によりまして床下浸水などの被害を受けた神岡地域の後川の内水排水対策の強化の一環といたしまして、神岡庁舎に可搬型の自家発電機を購入する経費155万円でございます。

これは、中段の表にありますように既存予算を活用いたしまして、平成23年度に西仙北庁舎や仙北庁舎に設置した可搬型の8インチ水中ポンプと同じものを既に2台、神岡庁舎の方へ設置しておりますが、今回購入する自家発電機は、この水中ポンプを動かすための発電機でございます。

以上、合わせまして2,176万3千円でございますが、すでに当初予算に計上しておりました排水ポンプ設置費を加えまして、合計4,425万9千円の補正をお願いするものでございます。

補正額の財源内訳でございますが、国県支出金といたしまして3,377万1千円が地域の元気臨時交付金でございます。残り1,048万8千円は、一般財源でございます。

続きまして4ページをご覧ください。

9款1項5目70事業、空き家等対策の補正額298万1千円の内訳をご説明申し上げます。

平成23年度に制定いたしました空き家条例に基づきましてこれまで空き家等の適正管理を求めて対策を行ってきたところでございますが、条例制定の効果でありますけれ

ども、危険な家屋のうち行政代執行により３件、１３棟の空き家を市が解体いたしました。また市の補助金を活用して２１件の空き家が解体。さらに自主解体が９４件ほどございまして、全部で現在１１８件の空き家が解体されております。

また６２件の空き家には居住が確認されております。

さらに新たに６８件の空き家が見つかっております。

現在、空き家台帳に登録になっている数は、昨年３月末の１，４１５件から１１１件減少いたしまして１，３０４件となっております。

今年の１月から３月における降雪も、３年連続の豪雪を受けまして、４人の臨時職員を雇用しながら空き家の雪下ろし等の被害対策を行ってきたところでありますが、この度も同じように来年の冬に向けまして空き家の調査や緊急避難的に空き家の雪下ろし対策を行う費用２９８万１千円の補正をお願いするものでございます。

財源の内訳にありますが、昨年までは県の緊急雇用制度を活用しておりましたが、今年度は最長２年間の雇用期間が満了いたしましたので、この制度は活用することができませんので、全て一般財源になります。

以上、よろしく審議いただきましてご承認賜りますようお願い申し上げます。

説明を終わります。

○委員長（渡邊秀俊） はい、説明が終了いたしました。

これより質疑を行います。質疑のある方はお願いいたします。

はい、佐藤委員。

○委員（佐藤文子） 水害対策について、お尋ねいたします。

ここに載っているのは、内水のポンプなどの設置というふうな予算のようでありましたが、実は朝日町のガード下によく大雨が降れば水が溜まるというようなことが良くあるわけですが、こうした大雨による水が側溝が良く機能がしていないがために、どんどん道路を冠水してしまうというような場所がこうま見受けられます。

具体的に言いますと、幸町にできている駅裏の大きい道路ですが、朝日町と結ぶ道路などの側溝は幅が約５０センチほどあるわけですが、深さはどれくらいあるかわかりませんが、側溝の蓋のわずか１０センチ位まで、全部、土砂、砂利が詰め行っていると、入っているということで、こうした側溝の管理の問題も、そうした水害というふうなものを引き起こすことになっているのではないかというふうなことも考えられます。

そういう意味で防災対策としては、建設部との関係を持ちながら、そうしたこの側溝の点検、そしていわゆる砂、砂利、そういったものを取り除くというふうなことも含めて水害対策に望まれたらいかかかなと思いますけれども、その点の考えは無いでしょうか。

すべて道路河川課ということでしょうか。

○委員長（渡邊秀俊） はい、総務部長。

○総務部長（元吉峯夫） 道路側溝の関係の維持管理については、道路河川課の所管になりますので、今、佐藤委員からこういうご指摘、ご意見があったということを私の方から所管の方に伝えておきたいと思います。

○委員（佐藤文子） はい、わかりました。

もう一点よろしいでしょうか。

空き家対策なんですけれども、代執行等行われてきたわけなんですけれども、手続において、その代執行に係る経費の所有者に求められるべき、そういったものの解決というふうなものは、どんなふうになっているのかどうか教えて頂きたい。

○委員長（渡邊秀俊） はい、進藤総合防災課長。

○総合防災課長（進藤久） ただいまの空き家対策の代執行にかかる経費のその後の顛末をご報告させていただきます。

先ほど紹介しましたように3件、既に大仙市では、代執行による空き家の解体工事を実施してございます。

最初の1件目の事案につきましては、178万5千円の経費を請求し、まだ未払いというような形で滞っている状況でございますが、現在、その底地を差押え、滞納処分という表現で差押えいたしております。数社ほど金融機関で既に抵当権が付いておりますので、そちらの公売等の行政執行の結果を待っているところであります。合わせて所有者と交渉をしながら、学校に隣接しているという有利な土地でもあることなので、学校等に駐車場敷として活用できないか、というような交渉も所有者の方と進めております。そこで賃貸料等が入ると多少、回収見込みが出てくるのかなという思いもしております。

次に2件目でございますが、これも所有者は東京に住んでいらっしゃいます。南外の物件でございますけれども、これも請求書は送っておりまして、そして、高齢者の方でございますので、年金生活ということで、お支払いできないというような状況です。今

後、資力を丹念に調べながら、全く能力が無ければ3年の執行停止に至る処分に至るのかなと、言う検討をさせていただきます。

3件目につきましては、つい先日、請求書を送らせていただいた状況でございます。

このあと、更地になった土地を他に貸し付けして、収益等が見込めるのかなということも含めて、所有者の方と交渉を続けていく予定でございます。

以上でございます。

○委員（佐藤文子） はい、わかりました。

○委員長（渡邊秀俊） ほかに。はい、本間委員。

○委員（本間輝男） あの財政部長にちょっとお聞きいたします。

歳入部分の11ページ。諸収入の雑入の部分についてちょっとお聞きいたします。

大仙市の予算の傾向からすれば、除雪経費について、9月で補正するという性格を持つ以上、予算計上としてはこの時期しか無いということの話しだと思って理解しますが、実はこの343万2千円の高齢者等除雪サービス事業負担金というのは、非課税の方とか、生活保護の方々の超過部分、440件の超過部分の歳入だと思うんだけど、利用者の負担金を、9月補正であげることがはたして適正なのかどうか。というのは歳入というのは、出納閉鎖が5月末に会計上なるわけで、この超過部分の、その歳入を9月に起こさなければならない理由というのは何なのか。

個人の、1軒あたりの負担金が9月に出てくる、前年度、24年度の予算がここに出てくるという理由は何なのか、そこをちょっとお聞きいたします。

○委員長（渡邊秀俊） はい、佐藤部長待遇。

○総務部部長待遇兼財政課長（佐藤芳彦） 高齢者等除雪サービス経費に係る負担金についてのご質問であります。

議員もおっしゃったように大仙市では除雪対策に係る経費につきましては、シーズン後の検討を踏まえながら、例年、9月補正で市道の除雪対策並びに今回のこれは高齢者、主に一人暮らし高齢者等の家屋の前の除雪をする経費でございます。

この中の歳入の負担金343万2千円につきましては、住民税の課税世帯が1万2千円、それから課税世帯でも均等割の方が1万円、非課税世帯が8千円というのが1シーズンの負担金になります。これにつきましては11月15日から3月31日までの期間の契約を予定しておりますので、市としては、前年度のシーズンの終了後に反省、検討を踏まえ、それから今、市全体でも雪対策を1年間かけて検討するというふうになって



ございますけれども、そういったことを踏まえて当初予算での計上は見送っているものでございます。

負担金の9月補正での計上の考え方というのは、今言ったような考え方でございますので、ご理解をお願いしたいというふうに思います。

○委員長（渡邊秀俊） はい、本間委員。

○委員（本間輝男） まあ、わからない訳では無いけれども、私の個人的な考え方からすれば、歳入部分で負担金については、やはり利用者の負担金というのは、歳入部分でやっぱり5月末の5月31日の出納閉鎖の段階できっちり納まっている、そういうものがやっぱり6月補正であげるのが本来であって、9月まで3か月引っ張るというのは、本来おかしい話だというのが、私の解釈だし。執行機関がどう思っているか、それは別です。

税務課長にお聞きします。この343万2千円というのは……。

○総務部部長待遇兼財政課長（佐藤芳彦） 25年度の今冬の除雪シーズンに負担していただく経費を今回、予算計上したということで、24年度の場合には既に負担して頂いておりますので。

○委員（本間輝男） そうだとすればちゃんと説明して。本当だが。間違い無いか。

税務課長。24年度の超過分はなんぼあった。

と言うことは平成24年度、過ぎたんしべ。その段階で確定したものあるんでね。んでねばおかしいべへ。んだべ。これが25年度の予算だべ。歳入として見込む額だべ。したら当然、24年度の予算にあるごとだんしべ。超過部分。

○総務部部長待遇兼財政課長（佐藤芳彦） この343万2千円の内訳ですけれども、440世帯のうち、住民税の非課税世帯が88世帯と見込んでおります。この世帯が1万2千円の負担となります。それから住民税課税世帯のうちの均等割のみの世帯を16世帯と見込んでおります。1万円の負担金です。それから非課税世帯は277世帯と見込んでおります。それで生活保護世帯は59世帯で、こちらについては無料の負担金となっております。

○委員長（渡邊秀俊） はい、本間委員。

○委員（本間輝男） そこまでわかった。これは25年度予算だしべ。私の勘違いでありました。だとすれば、24年度のこれに関してどうなのかということについての説明をお願いしたいということです。

○委員長（渡邊秀俊） 暫時、休憩いたします。

---

休憩（午前 10 時 45 分～10 時 47 分）

---

○委員長（渡邊秀俊） 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

ほかに質問ございませんか。

はい、本間委員。

○委員（本間輝男） 事業説明書の 11 ページ、交通安全課、ちょっとお聞きします。

（「交通安全課なまだだ」と呼ぶ者あり）

○委員（本間輝男） 失礼いたしました。

○委員長（渡邊秀俊） ほかに質問ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（渡邊秀俊） なければ質疑を終結いたします。

議案第 114 号については、後ほど市民部と一緒に討論及び採決いたしますので、関係者はご出席願います。

---

○委員長（渡邊秀俊） 次に、陳情第 62 号、「経済と雇用対策強化のため地方財政の充実・強化を求める意見書採択について」を議題といたします。

本陳情に関して、当局から参考になる意見がありましたらお願いします。

佐藤部長待遇兼財政課長。

○総務部部長待遇兼財政課長（佐藤芳彦） 参考意見ということで、全国市長会での地方交付税の動きがございますので、ご説明申し上げたいと思います。

去る 6 月 5 日に全国市長会議が開かれまして、都市税財源の充実強化に関する決議が定められております。この内容としまして、地方税の財源の充実強化と地方交付税の増額確保法定率の引き上げと大きな 2 つになってございます。

これに関しましては地方交付税は市町村合併による行政区域の拡大など、行政需要を地方財政計画に反映させて交付税の総額を確保すること、それから地方公共団体の財源

の不均衡を調整して、国民に一定の行政サービスを提供できるよう財源の調整、財源保障を強化するということで、これらについては、決議されてそれぞれ国の方に、担当大臣に直接要望書が手渡されております。

以上であります。

○委員長（渡邊秀俊） はい、ありがとうございました。

本件に関して、ご意見、ご質問等ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（渡邊秀俊） それでは暫時休憩いたします。

---

休憩（午前１０時５１分～１０時５１分）

---

○委員長（渡邊秀俊） 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

これより採決いたします。

本件は、採択と決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（渡邊秀俊） 異議なしと認め、本件は採択すべきものと決しました。

ただいま陳情第６２号が採択されましたので、会議規則第１４条第２項の規程により委員長名で議長に意見書案を提出いたしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（渡邊秀俊） ご異議ありませんので、委員長名で議長に意見書案を提出することに決しました。

事務局から意見書（案）を配布させます。

（意見書（案）を配布）

○委員長（渡邊秀俊） ただいま配布いたしました意見書案は陳情者から提出された案を事務局で作成したものです。

ただいまお配りいたしました意見書案についてご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（渡邊秀俊） ご異議ありませんので、この意見書案を議長に提出することに決定いたしました。

---

○委員長（渡邊秀俊） それでは先ほどの報告をわかりましたらお願いいたします。

はい、伊藤総務課長。

○総務課長（伊藤義之） 今、包括の方に聞きましたところ、未収は無いというようなことでございました。以上でございます。

○委員長（渡邊秀俊） 総額はわからない。総額はなんぼだった。24年度なんぼだったけということなんだ。

それでは、休憩中にもう一回調べてもらって報告をお願いします。

それでは、市民部と入れ替えのため、午前11時まで休憩いたします。

---

休憩（午前10時52分～午前11時04分）

---

○委員長（渡邊秀俊） 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

市民部の審査に入る前に山谷市民部長からあいさつをいただきます。

○市民部長（山谷勝志） 市民部関係の今次定例会の上程する案件につきましては、議案第114号、平成25年度一般会計補正予算（第3号）の1件のみとなっております。

説明につきましては、平環境交通安全課長がおこなすのでよろしくお願いご審議の上、よろしくお願い申し上げます。

なお昨年4月23日から本格受け入れを行って参りました岩手県宮古市からの災害廃棄物の可燃物につきましては、議員の皆様からもお出席いただきまして、7月31日に終了セレモニーを開催したところでありますが、受け入れ後の放射能等、各種測定結果につきましては、基準値を大きく下回っている状況にありますことをご報告申し上げます。

また岩手県から追加要請がありました野田村の不燃系混合物11,800トンにつきましては、地元説明会等を終えまして、9月下旬頃から県の環境保全センターに搬入さ

れる予定と伺っております。市といたしましては、安全を大前提に受け入れに供給して参りたいと考えておりますので、委員の皆様のご理解を賜りますようお願いを申し上げます。まして挨拶とさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

○委員長（渡邊秀俊） はい、ありがとうございました。

これより市民部の審査に入りますが、質疑の時間を多く取りたいと思いますので、説明は簡潔にお願いいたします。

なお、説明は、座ったままで結構です。

はじめに、議案第 1 1 4 号、平成 2 5 年度大仙市一般会計補正予算（第 3 号）のうち、市民部関係について、を議題といたします。

所管する補正予算について、説明をお願いします。

平環境交通安全課長。

○環境交通安全課長（平寛二） それでは、環境交通安全課に係る補正予算について、ご説明申し上げます。

補正予算書は、1 5 ページ、また主な事業説明書は 1 0 ページをお願いします。

4 款 1 項 8 目 2 4 事業、公共施設再生可能エネルギー等導入事業費については、1, 0 6 7 万 8 千円を補正し、補正後の予算現額を 2 億 3, 5 3 7 万 3 千円とするものです。

これは、市が所有する施設であって、耐震性を有する建物のうち、地域の防災拠点や災害時等に住民生活に不可欠な都市機能を維持するために必要な施設において、再生可能エネルギー等の導入を進め、災害に強く環境負荷の小さい地域を作り上げることを目的としております。

すでに着手のユメリアと南外中学校、大曲南中学校を除く 7 中学校については 2 6 年度に実施設計委託料を計画しておりましたが、パネル発注から納品に至るまで、相当の期間を要する場合は想定されますので、冬場工事を避けるため、前倒しして本年度実施設計を行うために補正をお願いするものであります。財源の内訳は、1, 0 3 8 万円が公共施設再生可能エネルギー等導入事業費補助金で残りは一般財源であります。

次に主な事業説明書は、1 1 ページをお願いします。

4 款 2 項 1 目 1 2 事業、廃棄物処理管理経費につきましては、補正額が 1, 3 1 8 万 8 千円で補正後の予算現額を 4, 1 0 4 万円とするものであります。

これは、市内7箇所にある旧最終処分場の維持管理を適切に行い、周辺環境の環境保全に努めるものでありますが、4月25日に発覚した中仙一般廃棄物最終処分場の浸出水外部配管損傷事案を受けまして、雪による損傷を防ぐため、地下に埋設及び被覆するための工事費441万円と設計業務委託料42万円を措置するとともに、供用開始から28年経過していることから、浸出水処理施設の設備診断を行う費用54万6千円を措置し、施設機能が維持されるよう計画的に修繕を行なおうとするものであります。

また、中仙一般廃棄物最終処分場の処理水が下流域に流れるよう、流末側溝の整備を534メートル行おうとするもので、この費用781万2千円を措置するものであり、すべて、一般財源で行います。以上であります、よろしくお願いいたします。

○委員長（渡邊秀俊） はい、説明が終了いたしました。

これより質疑を行います。質疑のある方はお願いいたします。

はい、本間委員。

○委員（本間輝男） 課長、ちょっとお聞きします。

この前もお聞きしましたが、市内7か所にあるこのごみの処理場に関して、私は市としてやっぱりきちんとした財源を持ちながら、特別会計制度で基金を積んでやっていく時期に入ったと申し上げた経緯があります。

今年の場合は、交付税が当初より9億円多く入ると、特交部分でなんぼ減るかはちょっと見通しつきませんが、やはり市の財政が苦しい、苦しいと言いながら、こういうごみの処理場に関して、旧町村が持ちます処理場に関して、やはり今一度ふんどしを締め直して、やっぱり1から旧処理場の問題を提起しながら行かないと行けない時期に入ると私は思っています。

やはり基金を積んで、基金を運用しながらその中で2千万、3千万という額を定めていかないと大変な時期に来ていると私は考えます。処理場に関してやっぱりこれでやめますということは、県なりの許可が必要でそこらへんがあんだがたの、市当局にとっては、足かせになっている部分だと思っています。

そこら辺に関してやっぱり執行機関である、首長さん、市長を含めて、やはり県の許可をもらうためにはどうすれば良いのか、そのためには大仙市としてどういう受け止め方、進め方をしていくべきなのかということをやっぱり一つ、受け止める時期だと私は思っております。その点について見解を求めます。

○委員長（渡邊秀俊） はい、平環境交通安全課長。

○環境交通安全課長（平寛二） その件につきましては、ご指摘のとおりであると受け止めておりまして、1カ所廃止するのに少なくとも最低5年はかかるであろうと。基金を創設するにあたりましては、基本調査というのを経まして、はたしていくらかかるであろうという、そこら辺を見定める必要がございますけれども、やはり従前からご指摘の将来世代に負担を残さないと、或いは維持管理費を早めに廃止することによって抑える、という考え方に立ちましてですね、この後、市長の方と協議をしまして、できるのであれば早めに予算措置をして参りたいと、協議を進めて行きたいというふうに考えておりますので、どうか一つよろしく願いいたします。

○委員長（渡邊秀俊） はい、本間委員。

○委員（本間輝男） あの、できるならばで無く、これはやらねばできねしや。

基本的に言えばごみの処理というのは、旧町村でやっぱり誰もが手をかけたくないことなんだし。今も上に土かけてそれで終わりだという地域が殆どです。

私の方の仙北はたまたまそういうところが少ないから良いんだけど、旧町村ではかなり持っているんしよ。中仙も含めて。

だから1カ所廃止するに5年かかると言えば、7カ所あるとすれば何年かかるんしか。相当ですよこれは。

やっぱりそこら辺はしよ、検討するでなくてやる方向で、もう明日から検討してやっぱりマップを作りながら調査に入って、県とも協議しながら、やっぱりそこはやりますという方向でないとダメですよこれ。

まあ、あんだでできなければ部長お願いします。

○委員長（渡邊秀俊） はい、山谷市民部長。

○市民部長（山谷勝志） その件につきましては、昨年12月議会のときも鎌田委員の方から要望が出されておりました。

また3月定例では、本間委員の方からこの基金関係の話も出されまして、まあ早急に対応すべきではないかということで、4月29日に市長、副市長を含めて協議しております。

その中で、3つの案を示しながら、年次計画を立てる方向で協議しました。

直ぐにという結果は出ませんでしたけれども、全体の基本的な調査が7カ所分については、1～2年かけてどれくらいかかるのか、という状況も調査して、それで概算をは

じきながら、その額に合わせたような半額程度はその基金を積み立てて行くと、一つ、そういう方向性を考えております。

1カ所、5年程度ということでしたけれども、それは調査期間も含めまして工事期間も含めて、廃止手続等まで行くと5年にかかるだろうと、ただ、その間に次の施設関係、或いは小さいところは2カ所まとめてとか、そういう形でできるだけ詰めた形、それから大曲の最終処分場、中仙の最終処分場につきましては、維持費が他よりも多くかかっていますので、そういう部分も早めに進めたいということで、その部分については市長とも協議を終わっております。

年度内には、全部、市長とも協議しまして、そのスケジュール等を再度、協議することで話しを進めております。

課の方でも担当を含め、県の保健所関係と協議しながら今後、進めて参りたいと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○委員長（渡邊秀俊） はい、本間委員。

○委員（本間輝男） あの今、市民部長から前向きな答弁を頂いて大変、私としては、こういう発言がやはりきちんとしたところを出して欲しいという要望で申し上げたつもりです。

やはり、市当局が前向きにやはり最終処分場の廃止について検討の時期に入ったということは、議長も含めて大変ありがたがったなあと考えております。

今、西根にある南外地区の最終処分場も、いずれ限界がくるというのが見えている訳です。やはり横手の処分場じゃないけれども、新しく建てるとすれば、相当難儀する時代が来ます。やっぱり新しい処理場のことも含めて、将来展望を早急に検討して実施する方向に進めていただくことをお願いして終わります。

○委員長（渡邊秀俊） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（渡邊秀俊） なければ質疑を終結いたします。

本件に関する討論及び採決は、次の請願第18号の審査終了後に総務部と一緒にを行います。



○委員長（渡邊秀俊） 次に、請願第18号、「下水道の整備に伴う一般廃棄物等の合理化に関する特別措置法に関することについて」を議題といたします。

本請願は、5月22日に提出され、第2回定例会の委員会審査において、調査検討を要するとし、継続審査としておりました。

また、先に配布しておりますが、8月21日付けで請願者より追加資料も提出されております。

本件に関して、ご意見・ご質問等ありましたらよろしくお願いいたします。

はい、富岡委員。

○委員（富岡喜芳） この件につきましては、うちの方の地域の方も入っておりまして、大変、うちの方は複雑に絡み合っておりまして、仙北市の方もいろいろ入っておりまして、大変、やりづらいと言いますか、大変営業に支障をきたすようなことが大変多く起きておりまして、私としてはもうちょっと、この件につきましては、検討をしながら継続審査という形にしたいと思います。

○委員長（渡邊秀俊） ほかにございませんか。

はい、佐藤委員。

○委員（佐藤文子） 6月の定例会での委員会でもお話ししましたが、今回の組合からの請願については、この組合に参加されている業者さんの中には従前の組合に入っておられる方々もいらっしゃいます。そういうことで新たに作った組合の皆さんの要望を採択しろというふうな要望は、これまでの従前入っている組合の方々との、いわゆる組織、団結だとか、秩序というふうなものを少し乱す、そういうふうな内容ではないかというふうに私は思っておりますので、要望の点について、例えば手数料等を早期に廃止しようとか、いうふうな部分については経営の実体上、行って検討する必要だと思える部分でもありますけれども、この要望の内容から見ますと、やっぱり全体の関連業者さんの組合があるわけですので、その内部でもう少し検討されたものとして出していただければなというふうに思う訳なので、今回のこの請願に対して私は賛同いたしかねるというふうな立場です。

○委員長（渡邊秀俊） ほかにございませんか。

はい、本間委員。

○委員（本間輝男） 私は前回、継続審議の時に申し上げたことの繰り返しになる部分もあると思いますので、どうかご容赦いただければ幸いです。

まず1つは、農業集落排水事業の推進によりまして、生し尿の汲み取りに関してかなり減って来ているというのは事実だと思います。その中でやはり、旧町村でし尿をやってきた方々が、かなり事業量を減らしていることは事実であり、経営全体を見るとかなり厳しい状況にあるということは、やはり市民の声として聞くべきだというのが私の考え方です。

ただ、私自身が申し上げることでないかもしれませんが、このし尿の汲み取りに関しては、私は基本的には執行権の範囲だなというのが私の基本的な考え方です。

だとすれば、組合の認可とか云々については、これは合法だと思いますけれども、やはり市当局の対応が、のんびり型の対応になっていないのか、もう一つは県の対応が非常にこのことについて、のんきなのか、やる気がないのか、法律そのものを理解していないのか、非常に県の対応もずさんさを感じます。そういう中で、やはり市民の声として、経営が苦しい、合特法の中には最後の一滴までやはりし尿業者を見るべき、見守らなければならないという法律の趣旨からして、私は一部については採択してやっても良いのではないかなという考え方を持っています。ただ、私自身としては、これまで請願に書いてあるとおり、数十年にわたって市に代わって環境衛生事業に係わってきた許可委託業者を保護育成すべきは行政の責務と言えると、こういう文書についてはやはりくみ取ってあげるのが議会としての姿勢であるということからして、私としては継続よりも一部採択してやるのが本来ではないかということを申しあげたいと思います。

○委員長（渡邊秀俊） それでは暫時、休憩いたします。

---

休憩（午前11時30分～午前11時35分）

---

○委員長（渡邊秀俊） それでは会議を再開致します。

本間委員から発言のありました一部採択の件につきまして、協議いたします。

本間委員。

○委員（本間輝男） 私としては、要望2の①、②、③、④については執行側に権限があるような気がします。

私としては、⑤までです。

⑥の部分と3，その他の部分については採択をしていただくようお願いいたします。

○委員長（渡邊秀俊） はい、一部採択の意見が出ました。

お諮りいたします。

継続審査、一部採択、不採択というそれぞれ意見が出ましたので、本件についてはまず、継続審査についてお諮りいたします。

本件は継続審査とすることに賛成の方は挙手願います。

（挙手1名あり）

○委員長（渡邊秀俊） 挙手、少数であります。よって本件は閉会中の継続審査とすることとは否決されました。

次に本件については一部採択の意見がありますので、一部採択についてお諮りいたします。

本件中、項目⑥とその他については採択し、そのほかの項目については不採択とすることに賛成の方は挙手願います。

（挙手1名あり）

○委員長（渡邊秀俊） 挙手、少数であります。よって本件は一部採択とすることは否決されました。

これまで本案に対して不採択という意見が出されております。

これより請願第18号を採決いたします。

この採決は挙手により行います。

ここをちょっと確認してください。

本件は、採択と決することに賛成の方は挙手願います。

（挙手なし）

○委員長（渡邊秀俊） 挙手、少数であります。

よって本件は不採択すべきものと決しました。

職員の入替えがありますので、11時45分まで休憩いたします。

---

休憩（午前11時38分～午前11時44分）

---

○委員長（渡邊秀俊） 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

これより、議案第１１４号、「平成２５年度大仙市一般会計補正予算（第３号）」を再び議題といたします。

これより討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（渡邊秀俊） 討論なしと認めます。

これより採決いたします。

本件は原案のとおり可決することに、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（渡邊秀俊） ご異議なしと認め、本件は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

---

○委員長（渡邊秀俊） 次に、「地方税財源の充実確保を求める意見書について」を議題といたします。

本件に関して、全国市議会議長会会長より別紙の内容で意見書の提出依頼があり、議長から当常任委員会での調査をお願いされましたので、その取扱いについて、ご協議いただきたいと思います。

皆さんのご意見をお伺いいたします。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（渡邊秀俊） 本件は、議長に対し、委員長名で本意見書案を提出することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（渡邊秀俊） ご異議なしと認め、議長に対し、委員長名で本意見書案を提出することに決定しました。

事務局から意見書案を配付させます。

（事務局、意見書案を配付）

○委員長（渡邊秀俊） ただいま配布いたしました意見書案は、依頼された全国市議会議長会から提出された参考例文を、事務局で作成したものです。

ただ今お配りいたしました意見書案について、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（渡邊秀俊） ご異議がありませんので、この意見書案を議長に提出することに決定いたしました。

---

○委員長（渡邊秀俊） 次に、「閉会中の継続審査・調査の申し出にかかる事件について」を議題といたします。

お諮りいたします。

所管事務にかかる閉会中の継続審査・調査に関する件について、お手元に配付しました事件のとおり、議長に対し、閉会中の継続審査・調査の申し出をしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（渡邊秀俊） ご異議なしと認め、そのように決定いたします。

---

○委員長（渡邊秀俊） 以上で、付託された事件の審査は全て終了いたしました。

なお、本委員会の「審査報告書」及び「委員長報告」の案文につきましては、委員長にご一任願いたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（渡邊秀俊） ご異議なしと認め、そのように決しました。

これをもちまして、総務民生常任委員会を閉会いたします。

どうもご苦労さまでした。

午前 11 時 48 分 閉会

---

委員会条例第 29 条第 1 項の規定により、ここに署名する。

平成 25 年        月        日

総務民生常任委員会委員長      渡      邊      秀      俊